WATCH

アジア・シームレス物流フォーラム2017

Asia Seamless Logistics Forum (ASLF)

第2回 企画・実行委員会を開催

スケールアップした新生ASLFの概要が明らかに

委員からの活発な意見を吸収し，セッション，セミナー計画を具現化

昨年発足した（一社）日本マテリアルフロー研究センター（JMFI）が主催団体となって初の開催となる，アジア・シームレス物流フォーラム2017（期日は5/18・19，東京流通センター）の開催に向けた第１回企画・実行委員会の様子については，先月号でレポートをお届けしたが，この１月20日㈮，続いて第２回委員会が東京都豊島区のJMFI大会議室にて開催された。

国土交通省および経済産業省よりのオブザーバーも参画し，40名弱の企画・実行委員（図表1）が一堂に会した。会は冒頭，JMFI小池勉専務理事がフォーラム事務局長として開会の辞を述べた後，初出席委員の自己紹介を経て，審議に入った。

前半はまず，共同議長である㈱ニトリホールディングス松浦学上席執行役員（㈱ホームロジスティクス代表取締役社長）の進行でスタート。今回の主要議題である，セミナー各セッションのテーマ，講師・企業・内容案について，前回審議を受けて事務局が作成したセミナー全体構成案（図表2）をJMFI菊田一郎常務理事（本誌編集長）が説明。２日間，４会場で展開する24セッションのコンセプト，トピックの原案を提示し解説した。続いて松浦共同議長が提案に対する意見を委員全員から募った。

意見の中では「委員会の意見を最大限盛り込んでいただいた，素晴らしい内容」「自分自身聴講したいセミナーが数多い」「聴講できなかった人のためにもMFの特集記事で内容を伝えてほしい」といった評価の声に加えて，「同時開催される複数セッション間で移動するため聴講者の出入りを自由にしてはどうか」「海外スタッフにも見学させたい，資料などの英語化や外国人向けのガイダンス的な配慮も欲しい」「類似テーマのセッションについては同日のプログラムにまとめて一度の来場で聴講できる工夫を」「海外の現地の流通業者・企業の本音が聞けるセッションも欲しい」「在庫目線でのセミナーも欲しい」「アジアでは中国の一帯一路政策についての解説のセミナーがあるべき」「物流を学び就職を考えている学生に向けての入門編的なセミナーなどあってもいい」等々，豊富な意見が提出された。

そうした中，国土交通省物流審議官部門の町田倫代国際物流課長からは「先般訪れたインドなどアジア各国で物流に関するホットな動きは実に多く，最新のインフラ整備拡張の情報は求められているし，東京オリンピック・パラリンピックの物流関連についての協議を始めるのにも，ちょうどいいタイミング」と，また経済産業省商務流通保安グループ流通政策課兼物流企画室の勝尾嘉仁室長補佐からは「充実したセミナーだからこそ，快適に受講でき移動がよりスムーズに行えるよう一層の運営上の対応も求めたい」との発言があった。

松浦共同議長は，物流業界の人間の目を引くメッセージ性が必要であることや，新技術の国際的な規格化の動きの中で国として乗り遅れないことの重要性などを指摘し，前半の議事を終了した。

進化するASLFの実現に向け運営上の新しい工夫も着々

後半は，共同議長の日本通運㈱井口博実事業開発部長・お客様相談センター所長に議事進行をバトンタッチ。展示コーナーの方向性，内容と出展拡大への取り組み等についての

国交省の町田倫代氏

経産省の勝尾嘉仁氏

松浦学共同議長（ニトリ）

井口博実共同議長（日通）

図表1 アジア・シームレス物流フォーラム2017 企画・実行委員 （敬称略・順不同）

共同議長	●㈱ニトリホールディングス｜上級執行役員（㈱ホームロジスティクス／代表取締役社長）	松浦　学
	●日本通運㈱｜事業開発部長 お客様相談センター所長	井口　博実
委員	●イオングローバルSCM㈱｜取締役 経営管理本部長	太田　年和
	●㈱イトーヨーカ堂｜物流企画開発部 総括マネジャー	松浦　敦
	●㈱日本アクセス｜常務執行役員 ロジスティクス部門管掌 兼 西日本営業部門ロジスティクス統括	宇佐美文俊
	●味の素㈱｜物流企画部長	堀尾　仁
	●日産自動車㈱｜SCM本部 部品物流エンジニアリング部 部長	三上　佳男
	●東芝㈱｜執行役員常務付（ロジスティクス担当）	正木　裕二
	●キヤノン㈱｜ロジスティクス統括センター 副所長	福森　恭一
	●日本貨物鉄道㈱｜取締役兼執行役員 営業統括部長	真貝　康一
	●三井倉庫ロジスティクス㈱｜執行役員 SCM営業本部長	杉浦　宜修
	●ヤマトロジスティクス㈱｜代表取締役社長	本間　耕司
	●山九㈱｜ロジスティクス・ソリューション事業本部 企画部 部長	中原敬一郎
	●センコー㈱｜物流経営研究所 所長	藤原　正邦
	●SGHグローバル・ジャパン㈱｜代表取締役	正代　誠
	●㈱セイノー情報サービス｜常務取締役 第二営業部長 兼 東京支店支店長	松本　充博
	●エムエスシージャパン｜社長	甲斐　督英
	●郵船ロジスティクス㈱｜執行役員	川島　利夫
	●㈱日立物流｜ロジスティクスソリューション開発本部 副本部長	福神健字郎
	●三菱商事㈱｜新産業金融事業グループ 物流本部 物流ソリューション部長	本田　隆一
	●日通商事㈱｜取締役 執行役員 情報システム部 経営企画部担当	宿谷　肇
	●㈱山善｜機構事業部マーケティング統括部 戦略企画部部長 兼 開発室室長	合志　健治
	●日本アイ・ビー・エム㈱｜インダストリー営業統括 流通営業本部担当執行役員	伊藤　昇
	●㈱NTTデータ｜第一公共事業本部第二公共事業部 営業部 貿易物流ソリューション担当 部長	佐野　直人
	●伊藤忠テクノソリューションズ㈱｜サービス営業部 部長補佐	長谷川真一
	●㈱ダイフク｜取締役 常務執行役員 FA&DA事業部門長	下代　博
	●㈱豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー｜国内営業部 部長	小倉　崇
	●日本パレットレンタル㈱｜取締役	岡部　利文
	●三甲㈱｜専務取締役 営業本部長	赤星慎一郎
	●独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）｜総括審議役（途上国ビジネス開発担当）	吉村佐知子
	●（一社）日本経済団体連合会｜産業政策本部長	上田　正尚
	●（一社）日本物流団体連合会｜理事　事務局長	村上　敏夫
	●（一社）日本アパレル・ファッション産業協会｜事務局長	遠藤　孝顕
	●（一財）流通システム開発センター｜常務理事	濱野　径雄
	●物流標準化懇話会｜代表理事	福本　博二
オブザーバー	●国土交通省｜物流審議官部門 国際物流課長	町田　倫代
	●経済産業省｜商務流通保安グループ 流通政策課兼物流企画室 室長補佐	勝尾　嘉仁
	●独立行政法人 国際協力機構（JICA）｜東南アジア・大洋州部 計画・ASEAN連携課 企画役	飯田　鉄二

図表2 アジア・シームレス物流フォーラム2017 セッション／セミナー構成原案
（調整中，変更されることがあります）

5月18日㈭
〈A会場〉
Ⓐ政策連携セッション①「日本のアジア物流・流通政策」
Ⓑ政策連携セッション②「アジアの貿易課題と物流」
Ⓒ政策連携セッション③「コールドチェーンと国際標準化」
〈B会場〉
Ⓓ日中韓連携（チャイナ）セッション
ⒺASEAN連携セッション①「タイ」
ⒻASEAN連携セッション②「ベトナム」
〈C会場〉
Ⓖメディカル物流セッション「医薬品物流／GDP国際対応」
ⒽSPA・アパレルセッション「製販連携サプライチェーン」
Ⓘ製造業セッション「グローバル・シームレスサプライチェーン」
〈D会場〉
Ⓙ安全・安心セッション「BCP，セキュリティ，レジリエンス」
Ⓚ越境ECセッション「日ーアジア市場展開」
Ⓛ特別企画〈物流女子会パネル〉「活躍する女性ロジマネージャーにきく」
5月19日㈮
〈A会場〉
Ⓜ政策連携セッション④「アジア（ASEAN）物流コスト調査成果から」
Ⓝ政策連携セッション⑤「中小企業・地方産品のアジア輸出支援策」
Ⓞ政策連携セッション⑥「東京オリンピック・パラリンピックに備える」
〈B会場〉
⒫ASEAN連携セッション③「フィリピン，インド，インドネシア，他」
Ⓠアジア物流課題・解決セッション「インフラ，ハラール他」
Ⓡ生鮮物流・コールドチェーンセッション「実践事例と支援サービス」
〈C会場〉
Ⓢ食品・飲料物流セッション「アジア展開と支援サービス」
Ⓣ先端トレンドセッション「AIは物流をどう変えるか」
Ⓤ流通・オムニチャネルセッション「小売業のアジア展開と物流」
〈D会場〉
Ⓥ三国間物流セッション「事例，支援技術・サービス」
⒲IoT・見える化セッション「リアルタイム・アジア連携，国際標準化」
⒳シェアリングロジ・セッション「シェアエコとロジスティクスの未来」

事務局説明では，展示内容を分かりやすく示す各種案内の改善や，出展スペースそのものの改善の工夫，さらに集客の拡大に向けたSNS活用の拡大を含む情報拡散の取り組みを従来以上に図る方針，来場者1万2,000人という目標も表明された。

各委員からは，セミナースペースのレイアウトの工夫や動線の工夫についての具体的なアイデアが提示されたほか，商談スペースの有効活用や，資料だけ欲しいという来場者向けの設備の提案，1～2階の上下移動アクセスについての要望等が寄せられた。

井口共同議長から「本日，多数意見が寄せられたセッション内の出入りの方針については，この場で決定したほうがいいのでは」との発案により，議論の後「来場者ファーストの視点で，セッションの合間には出入り可能とする」方針が了承された。

最後に小池事務局長より，JMFIの活動進捗状況が報告され，実行委員会は終了となった。 MF

アジア・シームレス物流フォーラム事務局

一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター（JMFI）
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-47-6 パレス南池袋202
［TEL］03-3988-2671 ［FAX］03-3980-6588
［URL］http://ryuken-jmfi.or.jp/

資料請求はお電話またはeメールで下記へ
［Email］
info@ryuken-jmfi.or.jp